

Safe@Office 500 UTMアプライアンス

小・中規模環境向け、オールイン・ワンのセキュリティ・アプライアンス



課題

多くの企業環境では、顧客の信頼を獲得し、ビジネス活動を積極的に行うために、インターネットやブロードバンドを活用することが不可欠ですが、企業として真の成功を取めるためには、顧客データ、知的財産データ、会計情報等の機密性が必要とされるさまざまなデータを確実に保護するためのセキュリティを導入することが欠かせません。ウイルスやワーム、ハッカー、あるいはゼロデイ・アタックならぬゼロアワー・アタックなど、インターネット上に存在する多種多様な脅威から企業を守るためには、数多くのソリューションが必要となります。しかしながら、これらの脅威に対応するための総合的なセキュリティ対策を導入することは一般的に容易ではなく、また企業リソースのセキュリティと可用性を両立し、ネットワーク内部のリソースへの安全なアクセスを行うためには、多大な投資が必要となります。

そのため多くの企業は、コスト・パフォーマンス、信頼性、柔軟性、および管理性に優れた、オールインワン型のインターネット・セキュリティ/VPNソリューションを必要としています。

解決策

チェック・ポイントのSafe@Office® 500 UTM (Unified Threat Management: 統合脅威管理) アプライアンスは、エンタープライズ環境で多数実績のあるFireWall-1が搭載するインターネット・セキュリティ技術をベースに開発された、小規模環境向けの統合セキュリティ・アプライアンスです。Safe@Office 500は、ファイアウォールやVPN機能だけでなく、アプリケーション・レベルの防御やIPSによる侵入防御、外部からのハッキングやサービス妨害 (DoS) 攻撃から、フィッシングやウイルスに至る、さまざまな脅威に対する強固な防御機能を提供します。このアプライアンス1台で、インターネット上に存在するさまざまな種類の脅威より、小・中規模環境のネットワークに対する広範なセキュリティ保護を簡単にこなします。

Safe@Office 500は、企業ネットワークに自宅や小規模の支店などのリモート環境から安全にアクセスするための手段を幅広くサポートしているため、ネットワークのセキュリティを低下させることなく、生産性の向上とビジネスの継続性の維持を図ることができます。また、セキュリティに優れた無線アクセス・ポイント内蔵モデル (500Wモデル*) と先進のADSL/ADSL2+モデム内蔵モデル (ADSLモデル*) が用意されているため、ネットワーク接続およびネットワーク・セキュリティに関する小規模環境のあらゆるニーズを満たすことが可能です。

Safe@Office 500には、Fortune 500に含まれる世界中の大手企業の98%に導入され、チェック・ポイントが特許を取得済みのセキュリティ技術であるステートフル・インスペクションが搭載されています。また導入に際しては、Safe@Office 500を箱から取り出し、ケーブルを接続し、ウィザードに従い設定するだけのわずかな時間で、必要なセキュリティを実施した上で安全な運用を開始することが可能です。

注意：無線LAN対応Safe@Office 500Wは今後日本国内対応販売予定。ADSLモデルはAnnex Cには対応していません。

UTMアプライアンス

ネットワーク・セキュリティに必要な機能をすべて備えるオールインワン・ソリューション

ファイアウォールとIPS

市場をリードするステートフル・インスペクション技術をベースにしたファイアウォール機能および侵入防御技術を搭載 - Fortune 500企業の98%に導入されている実績ある技術を採用

ゲートウェイ・アンチウイルス

ウイルス、ワーム、およびフィッシングなど攻撃をネットワークの入口でブロック

リモート・アクセスVPN

外出先からのリモート・アクセスVPNおよびサイト間VPNにより安全なネットワーク接続を実現

幅広い接続機能

無線アクセス・ポイント機能やADSLモデムを搭載したモデルを用意することにより、利用環境に最適なモデルを選択可能に

WEBフィルタリング

不適切なWebコンテンツの利用を制限

WEBベースの管理

ウィザード形式で設定を行える管理インタフェースと事前定義されたセキュリティ・ルールにより、管理労力を大幅に削減し、本来の業務への注力を可能に

自動アップデート

ファームウェアおよびウイルス定義ファイルを定期的に自動で更新することにより、常に最新の脅威からネットワークを保護



NGXプラットフォームによりチェック・ポイントの統一されたセキュリティ・アーキテクチャを実現します。

比類なき防御機能

Safe@Office 500では、高い実績を誇るチェック・ポイントのステートフル・インスペクションをベースにしたファイアウォール技術、高性能なゲートウェイ・アンチウイルス、IPS、高速ADSLモデム（ADSLモデルのみ）、およびネットワーク構成の自由度を向上する無線アクセス・ポイント（500Wモデルのみ）が統合されています。Safe@Office 500では、ネットワークを安全に守る上で必要になるさまざまなネットワーク防御機能が統合し提供されているため、さまざまな脅威へ対抗するために必要となる複数の異なるセキュリティ製品を個別に導入する必要はありません。

またSafe@Office 500は、DoS攻撃のブロック、プロトコル異常の検出、アプリケーションによる悪意あるデータ送信の制限、およびアプリケーション層における通信のふるまい制御を可能にするApplication Intelligence™（アプリケーション・インテリジェンス）技術を搭載しています。

これらのメカニズムにより、インスタント・メッセージやピア・ツー・ピア（P2P）によるファイル共有、FTPなどのインターネット技術を適切に利用できるようになると同時に、不審なトラフィックをブロックできるため、限りなく安全にネットワークを利用できるようになります。

Safe@Office 500では、ポート・ベース/タグ・ベースのVLANに対応しており、複数の独立したネットワーク・ゾーンを作成することができます。内部セキュリティを強化するためには、802.1xのポート・ベースのセキュリティを有効にします。この設定の場合、ネットワークへの物理的なアクセスを許可する前に、有線LANユーザと無線LANユーザの両方に対して認証を受けるよう求めることができます。適切に認証が行われなかったユーザについては、自動的に検疫ネットワークに誘導し、ゲスト・ユーザとして限定されたアクセス権を付与することができます。

いつでもどこからでもオフィス・ネットワークにアクセス可能

Safe@Office 500にはVPN機能とリモート・デスクトップ機能が統合されているため、外出中の社員や支社・支店環境より、通信を暗号化し安全にネットワーク・リソースに接続することができます。Safe@Office 500は、許可されたユーザだけがネットワークにアクセスできるようにリモート・ユーザのIDを認証し、通信を暗号化してデータの完全な機密性を確保します。

外出中の社員や在宅勤務者は、ノートPCやPDAよりリモート・アクセスを行う際、Safe@Office 500に付属するVPNクライアント・ソフトウェアのVPN-1® SecuRemote™やL2TP IPSec VPNクライアントを使用することで、クライアントから接続先のゲートウェイまでの通信を暗号化し安全なリモート・アクセスを行えます。また、リモート・デスクトップ機能を使用すると、企業ネットワーク内のコンピュータをWebブラウザから直接リモート・コントロールできます。

Safe@Office 500のサイト間VPN機能では、安全性が高く永続的に暗号化されたトンネルにより各拠点を相互接続できます。

ゲートウェイ・アンチウイルス

ネットワークの手前でウイルスをブロック

Safe@Office 500のステートフル・インスペクションのアンチウイルス機能は、ウイルスがネットワーク内に侵入する前にブロックすることで、ネットワーク内のすべてのPCを保護します。検査の対象となる通信は、アンチウイルス・ポリシーの設定によって素早く簡単に、そして正確に定義できます。ゲートウェイ・アンチウイルスをクライアントPCのアンチウイルス・ソフトウェアと併用することは、ゼロアワー・ウイルス（定義ファイルまたはパッチが提供される前に爆発的に感染を広げるウイルス）対策として有効であり、新種のウイルスに対する二重の防御策として有効です。

安全な無線LANとホットスポット

Safe@Office 500Wは、優れたパフォーマンスと包括的なセキュリティを提供し、プラグ・アンド・プレイで導入可能なオールインワン型の無線LAN対応セキュリティ・ソリューションです。Safe@Office 500Wは、最大108 Mbpsの無線通信速度を実現するSuper-G規格をサポートするほか、従来規格の802.11bおよび802.11gにも対応しています。XR（eXtended Range）対応クライアントを使用すると、標準的なアクセス・ポイントの最大3倍の通信距離を実現できます。

Safe@Office 500Wは、追加で無線LANのアクセスポイントを必要とすることなく、Safe@Office 500Wのみでオフィス全体をカバーします。またWireless Distribution System（WDS）を使用すると、2台以上のデバイスを相互接続してネットワークを拡張できます。

Safe@Office 500Wでは、複数の仮想アクセス・ポイントを使用して無線ネットワークをセグメント化することができるため、極めて高いレベルのセキュリティを実現できます。各仮想アクセス・ポイントでは、それぞれ異なるセキュリティ・ポリシーと暗号化設定を使用できます。また、さまざまな認証方式（最新規格であるWPA2を含む）を使用してリモート・ユーザのIDを認証し、許可されたユーザだけがネットワークにアクセスできるよう設定することも可能です。

さらに、IPSecによるVPN技術を使用して無線通信を暗号化し、データ伝送中の盗聴や改ざんの防止を強化することもできます。

ゲスト用ホットスポットの設定や、カスタマイズ可能なWebベース認証によるアクセス制御も容易に行うことができます。

注意：現在日本国内では無線LAN機能は使えません。今後発売予定。

ネットワーク接続の冗長性

モデム機能の内蔵

Safe@Office 500/500W ADSLは、ADSL/ADSL2/ADSL2+モデムを内蔵したUTMアプライアンスです。下り最大24Mbpsの通信速度をサポートするSafe@Office 500/500W ADSLアプライアンスは、小規模環境向けの包括的なネットワーク接続機能とセキュリティ機能を提供します。外部ADSLモデムを別途用意する必要がないため、ネットワーク接続環境を簡素化することができます。

注意：Annex Cは未対応

ネットワーク接続を常に維持

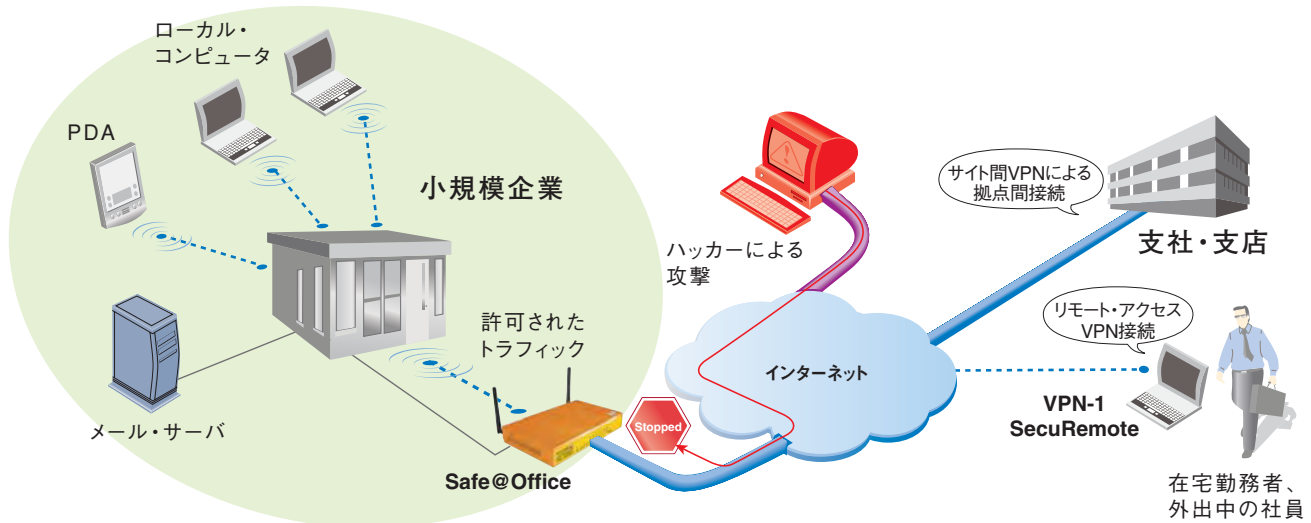
ビジネスを継続する上では、インターネットへの接続を常に接続状態に保つことが極めて重要ですが、一般的にネットワーク接続時の最大の弱点となりうるのは、インターネット・サービス・プロバイダ（ISP）への接続です。Safe@Office 500では、ISPに障害が発生した場合に備え、ISPへのバックアップ接続（ブロードバンド、携帯電話網、ダイヤルアップ）がサポートされています。POSシステムや一時的な拠点など、ブロードバンド接続が利用できない環境では、携帯電話またはダイヤルアップUSBモデムをメインのインターネット回線として利用することもできます。

ミッション・クリティカルな環境では、2台のSafe@Office 500を冗長構成にすることで、障害発生時に自動的にフェイルオーバーを行うことができます。

容易な設定と管理

セキュリティ専任の管理者は不要

Safe@Office 500には、Webベースの管理ツールが用意されており、セキュリティの設定はわずか数分で終了します。設定ウィザードを使用して、事前定義された3段階のファイアウォール・ポリシー（高、中、低）のいずれかを選択するか、または手動でセキュリティ・ポリシーを作成できます。



セキュリティ・ポリシーは、利用環境固有のニーズに応じて柔軟に変更可能です。また各種のリモート管理オプションを使用して、いつでもどこからでも安全に設定変更を行えます。

セキュリティおよびネットワークの効果的な監視と管理

Safe@Office 500には、ブロックされた攻撃や許可された通信などの結果を分かりやすく色分けされたログとして表示する機能があり、攻撃元のIPアドレスやポート番号、時間などを管理者が容易に把握することが可能です。また、ログに含まれているIPアドレスより管理者を素早く把握するための「WHOIS」ユーティリティは、インターネット上での「ナンバー・ディスプレイ機能」として利用できます。さらに、Safe@Office 500にはトラフィック監視ツールとパケット・キャプチャ・ツールが用意されており、これらを使用して内向き/外向きのトラフィックを監視および制御することで、ブロードバンド接続の帯域を有効に活用することが可能になります。

包括的なネットワークおよびトラフィック管理機能

Safe@Office 500は、セキュリティ機能だけでなく、4ポートのLANスイッチ、DMZポート、WANポート (EthernetまたはADSL)、無線アクセス・ポイント (500Wモデルのみ) といった本格的なネットワーク・ルータ機能も備え

ています。また、スタティック・ルーティングおよびダイナミック・ルーティングのオプション機能も備えているため、複雑な構成のネットワークにも柔軟に対応することが可能です。Safe@Office 500はトランスパレント・ブリッジとしても動作します。

オプションのセキュリティ・サービス セキュリティ機能を継続的に自動アップデート

進化を続ける最新の脅威から確実にネットワークを保護するためには、ネットワークのセキュリティ・ソリューションを常に最新の状態に維持する必要があります。Safe@Officeサービス・センターに加入していただくと、ユーザの介在を一切必要とせずにソフトウェア (ファームウェアやセキュリティ・ポリシー) を自動的にアップグレードし、継続的に運用することが可能になります。このサービスに加入すると、常に最新のハードウェア本体のファームウェアやウイルス定義ファイルに自動でバージョンアップできるほか、トラフィック状況やファイアウォール、およびアンチウイルスの活動に関する詳細情報を提供する月次セキュリティ・レポートも入手できます。サービス・センターではこのほかにも、Webフィルタリング・サービスを追加オプションとして提供しています。このサービスでは、有害なインターネット・コンテンツへのアクセスを制限することによって、社員の生産性を向上させると同時に、インターネット上の脅威によって不必要にネットワークのセキュリティが侵害されるリスクを低減できます。

同じくサービス・センターで提供されるダイナミックDNSサービスでは、動的なIPアドレスを利用する環境下でSafe@Officeを利用した場合でも、ダイナミックなDNSの更新機能を利用し、顧客やパートナー、社員が、電子メールやFTP、Webサイト、あるいはSafe@Officeゲートウェイ自体などの重要なネットワーク・リソースにアクセスできるようになります。



Safe@Officeで使用されている技術

Safe@Officeは、VPN-1 Embedded NGX™ (Application Intelligence技術を含む) をベースにしています。VPN-1 Embedded NGXには、組み込みプラットフォーム向けに最適化された、市場をリードするチェック・ポイントのファイアウォールおよびVPNソフトウェアが搭載されています。VPN-1 Embedded NGXは、チェック・ポイントの関連会社であるSofaWare Technologiesによって開発されました。SofaWare Technologiesは、組み込みプラットフォーム向けのソフトウェアの設計、およびこの技術に基づく革新的なサービス・ソリューションの開発に携わっています。



| Safe@Office | | 500 | 500W | 500 ADSL | 500W ADSL |
|---|--|----------|--|-------------|--------------|
| 同時ユーザ数 | 5/25/無制限 | | | | |
| ハードウェア機能 | | | | | |
| ファイアウォールのスループット (Mbps) | 100/150* | | | | |
| VPNのスループット (Mbps) | 20/30* | | | | |
| 同時ファイアウォール接続数 | 8,000 | | | | |
| 4ポートのLANスイッチ | 10/100 Mbps | | | | |
| WANポート | 10/100 Mbps | | ADSL2+ | | |
| DMZ/WAN2ポート | 10/100 Mbps | | | | |
| コンソール・ポート (シリアル) | ✓ | | | | |
| ウォール・マウント・キット | ✓ | | | | |
| ファイアウォール/セキュリティ機能 | | | | | |
| チェック・ポイントが特許を保有するステートフル・インスペクション・ファイアウォール | ✓ | | | | |
| Application Intelligence (IPS) | ✓ | | | | |
| インスタント・メッセージのブロック/監視 | ✓ | | | | |
| P2Pファイル共有のブロック/監視 | ✓ | | | | |
| ポート・ベース/タグ・ベースのVLAN | ✓* | | | | |
| ポート・ベースのセキュリティ (802.1x) | ✓* | | | | |
| 安全なホットスポット (ゲスト・アクセス) | ✓* | | | | |
| オプション・サービス** | | | | | |
| ゲートウェイ・アンチウイルス | ✓ | | | | |
| アンチウイルス機能でサポートされるプロトコル | HTTP、FTP、NBT、POP3、IMAP、SMTP、ユーザ定義のTCPポートおよびUDPポート | | | | |
| オンザフライでの圧縮ファイルの解凍 | ✓ | | | | |
| アンチスパム | ✓ | | | | |
| Webフィルタリング | ✓ | | | | |
| VPN | | | | | |
| リモート・アクセス・ユーザ数 | 5/25* | | | | |
| リモート・アクセス・クライアント・ソフトウェア | チェック・ポイントVPN-1® SecuRemote™ (Safe@Office 500に付属)/L2TP IPsec VPNクライアント | | | | |
| サイト間VPNのトンネル数 | 2/15* | | | | |
| サイト間VPNのトンネル数 (SMP利用時) | 10/100* | | | | |
| IPsec機能 | ハードウェア・アクセラレーションによるDES、3DES、AES、MD5、SHA-1、ハードウェアによる乱数生成 (RNG)、IKE (Internet Key Exchange)、PFS (Perfect Forward Secrecy)、IPsec圧縮、IPsec NATトラバース (NAT-T) | | | | |
| L2TP VPNサーバ | ✓ | | | | |
| ネットワーク機能 | | | | | |
| サポートされる規格 | スタティックIP、DHCP、PPPoE、PPTP、Telstra | | スタティックIP、DHCP、PPPoE、PPTP、Telstra、EoA、PPPoA | | |
| バックアップ/ISP | ✓ | | | | |
| ダイヤルアップ・バックアップ | シリアル | シリアル、USB | シリアル、USB | シリアル、USB | |
| トラフィック・シェーピング (QoS) | ベーシック/アドバンス* | | | | |
| ゲートウェイの自動フェイルオーバー (HA) | ✓* | | | | |
| ダイナミック・ルーティング | ✓* | | | | |
| プリント・サーバ | — | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ |
| 管理 | | | | | |
| HTTP / HTTPS / SSH / SNMP / SMP | ✓ | | | | |
| ローカル診断ツール | Ping、WHOIS、パケット・スニフ、VPNトンネル・モニタ、接続テーブル・モニタ、無線モニタ、アクティブなコンピュータの表示、ローカル・ログ | | | | |

* パワーバック・アップグレードが必要です。

** サービスの追加購入が必要です。

*** Super-GおよびXRモードはこれらモードに対応した無線LANカード利用時のみ利用できます。通信距離は実際の利用環境により異なります。

注意：Safe@Office 500WおよびADSL対応製品は現在日本国内では販売していません。

©2003-2007 Check Point Software Technologies Ltd. All rights reserved.

Check Point, AlertAdvisor, Application Intelligence, Check Point Express, Check Point Express CI, Check Pointのロゴ, AlertAdvisor, ClusterXL, Confidence Indexing, ConnectControl, Connectra, Connectra Accelerator Card, Cooperative Enforcement, Cooperative Security Alliance, CoreXL, CoSa, DefenseNet, Dynamic Shielding Architecture, Eventia, Eventia Analyzer, Eventia Reporter, Eventia Suite, FireWall-1, FireWall-1 GX, FireWall-1 SecureServer, FloodGate-1, Hacker ID, Hybrid Detection Engine, IMsecure, INSPECT, INSPECT XL, Integrity, Integrity Clientless Security, Integrity SecureClient, InterSpect, IPS-1, IQ Engine, MailSafe, NG, NGX, Open Security Extension, OPSEC, OSFirewall, Pointsec, Pointsec Mobile, Pointsec PC, Pointsec Protectorm, Policy Lifecycle Management, Provider-1, Safe@Home, Safe@Office, SecureClient, SecureClient Mobile, SecureKnowledge, SecurePlatform, SecurePlatform Pro, SecureRemote, SecureServer, SecureUpdate, SecureXL, SecureXL Turbocard, Sentivist, StielManager-1, SmartCenter, SmartCenter Express, SmartCenter Power, SmartCenter Pro, SmartCenter UTM, SmartConsole, SmartDashboard, SmartDefense, SmartDefense Advisor, Smarter Security, SmartLSM, SmartMap, SmartPortal, SmartUpdate, SmartView, SmartView Monitor, SmartView Reporter, SmartView Status, SmartViewTracker, SofaWare, SSL Network Extender, Stateful Clustering, TrueVector, Turbocard, UAM, UserAuthority, User-to-Address Mapping, UTM-1, VPN-1 Accelerator Card, VPN-1 Edge, VPN-1 Express, VPN-1 Express CI, VPN-1 Power, VPN-1 Power VSX, VPN-1 Pro, VPN-1 SecureClient, VPN-1 SecuRemote, VPN-1 SecureServer, VPN-1 UTM, VPN-1 UTM Edge, VPN-1 VSX, Web Intelligence, ZoneAlarm, ZoneAlarm Anti-Spyware, ZoneAlarm Antivirus, ZoneAlarm Internet Security Suite, ZoneAlarm Pro, ZoneAlarm Secure Wireless Router, Zone Labs, Zone Labsのロゴは、Check Point Software Technologies Ltd. あるいはその関連会社の商標または登録商標です。ZoneAlarm is a Check Point Software Technologies, Inc. Company. その他の企業、製品名は各企業が所有する商標または登録商標です。本書に記載された製品は米国の特許 No.5,606,668, 5,835,726, 5,987,611, 6,496,935, 6,873,988, 6,850,943, および7,165,076により保護されています。その他の米国外における特許や他国における特許で保護されているか、出願中の可能性があります。

P/N 502579J 2007.10 ※記載された製品仕様は予告無く変更される場合があります。

| ADSLモデムの仕様 | |
|------------------------------------|--|
| サポートされる規格 | ADSL2、ADSL2+、T.1413 G.dmt (G.992.1)、G.Lite (G.992.2)、ANNEX A (ADSL over POTS)、ANNEX B (ADSL over ISDN) |
| 無線LANの仕様*** | |
| 無線LANプロトコル | IEEE 802.11b (11Mbps)、802.11g (54Mbps)、Super-G (108Mbps) |
| 無線LANセキュリティ | VPN over Wireless、WEP、WPA2 (802.11i)、WPA-PSK、802.1x |
| 無線LANの通信距離 (標準モード) | 屋内で最長100m、屋外で最長300m |
| 無線LANの通信距離 (XRモード) | 屋内で最長300m、屋外で最長1km |
| Wireless Distribution System (WDS) | ✓* |
| 複数のアクセス・ポイント | ✓* |

| 説明 | SKU |
|---|------------------------------|
| Safe@Office 500 UTMアプライアンス | CPSB-500G-N-XXX |
| Safe@Office 500W UTM無線アプライアンス | CPSB-500WG-N-YYYYY-XXX |
| Safe@Office 500 UTM ADSLアプライアンス | CPSB-500G-N-ADSL-Z-XXX |
| Safe@Office 500W UTM無線ADSLアプライアンス | CPSB-500WG-N-ADSL-ZYYYYY-XXX |
| - ユーザ数：5/25/Unlimited (N) - 電源：EU/US/FAE/UK/JPN/AUS/KOR (XXX) - ADSL規格：ANNEX A/B (Z) - 無線ゾーン規格：World/FCCA/MKKA (YYYYY) | |

| 説明 | SKU |
|---|--------------------|
| サポートおよびサブスクリプション： Safe@Office -5ユーザ | ST-CPSB-5 |
| サポートおよびサブスクリプション： Safe@Office -25ユーザ | ST-CPSB-25 |
| サポートおよびサブスクリプション： Safe@Office -無制限ユーザ | ST-CPSB-U |
| AV、サポートおよびサブスクリプション： Safe@Office -5ユーザ | STAV-CPSB-5 |
| AV、サポートおよびサブスクリプション： Safe@Office -25ユーザ | STAV-CPSB-25 |
| AV、サポートおよびサブスクリプション： Safe@Office -無制限ユーザ | STAV-CPSB-U |
| Webフィルタリング・サービス： Safe@Office -5ユーザ | WF-CPSB-5 |
| Webフィルタリング・サービス： Safe@Office -25ユーザ | WF-CPSB-25 |
| Webフィルタリング・サービス： Safe@Office -無制限ユーザ | WF-CPSB-U |
| Safe@Office 500/500W、 5ユーザから25ユーザへのアップグレード | CPSB-500-UPG-5TO25 |
| Safe@Office 500/500W、 25ユーザから無制限ユーザへのアップグレード | CPSB-500-UPG-25TOU |
| Safe@Office 500/500W、 5ユーザから無制限ユーザへのアップグレード | CPSB-500-UPG-5TOU |
| Safe@Officeパワーバック | CPSB-500-UPG-PPACK |



Check Point®
SOFTWARE TECHNOLOGIES LTD.

チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ株式会社
〒160-0022 東京都新宿区新宿5-5-3 建成新宿ビル6F
http://www.checkpoint.co.jp/ E-mail: info_jp@checkpoint.com Tel: 03 (5367) 2500